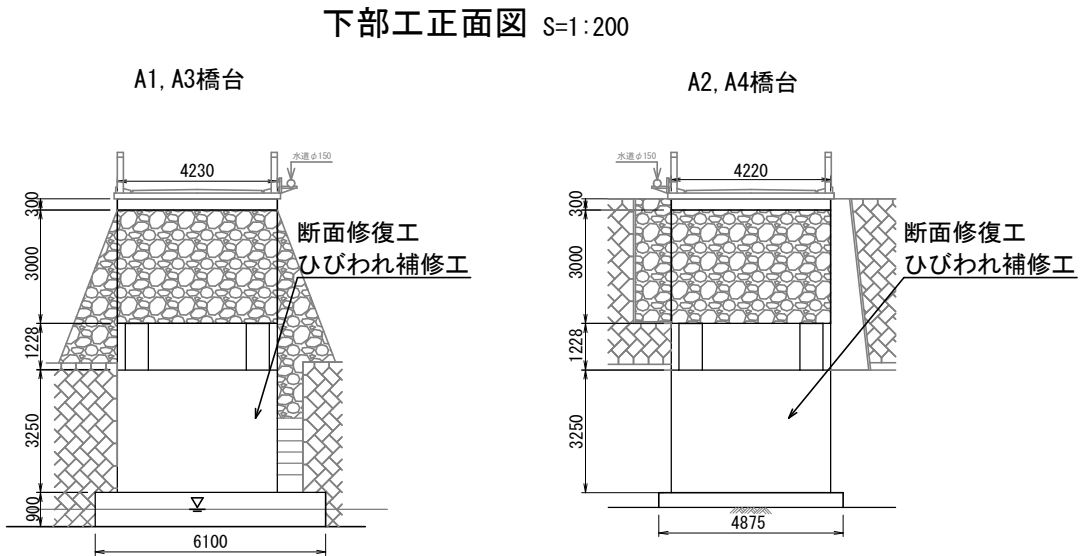
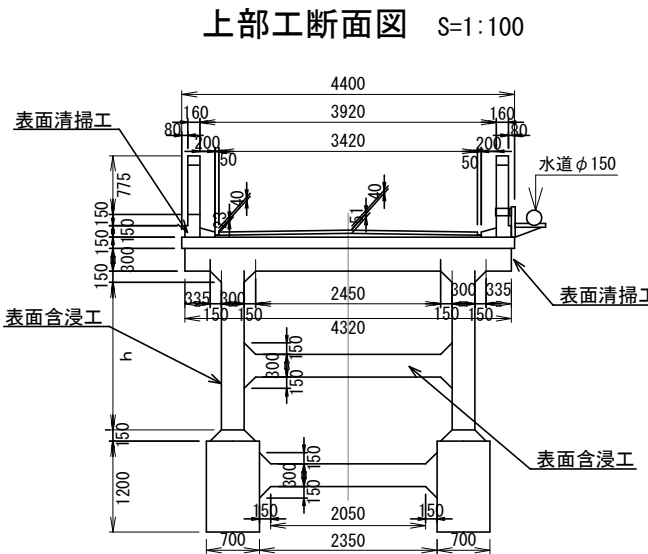
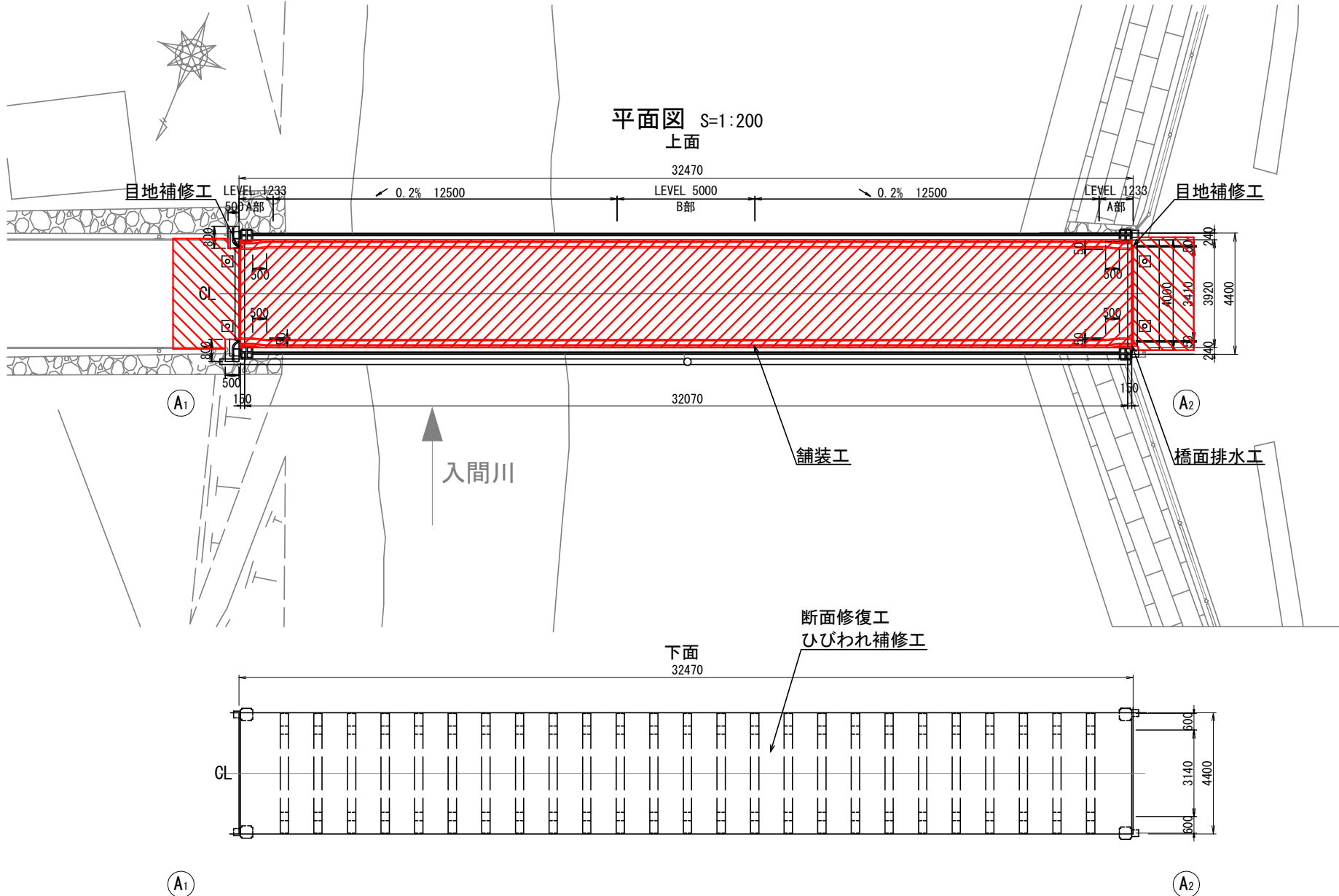
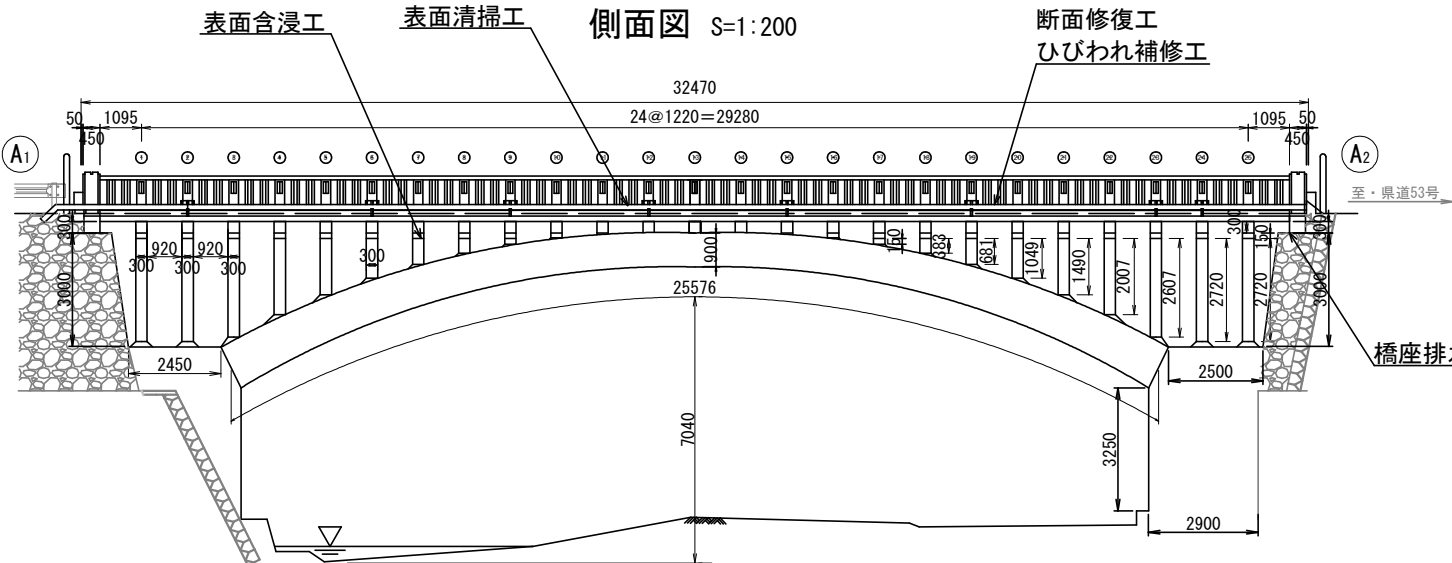


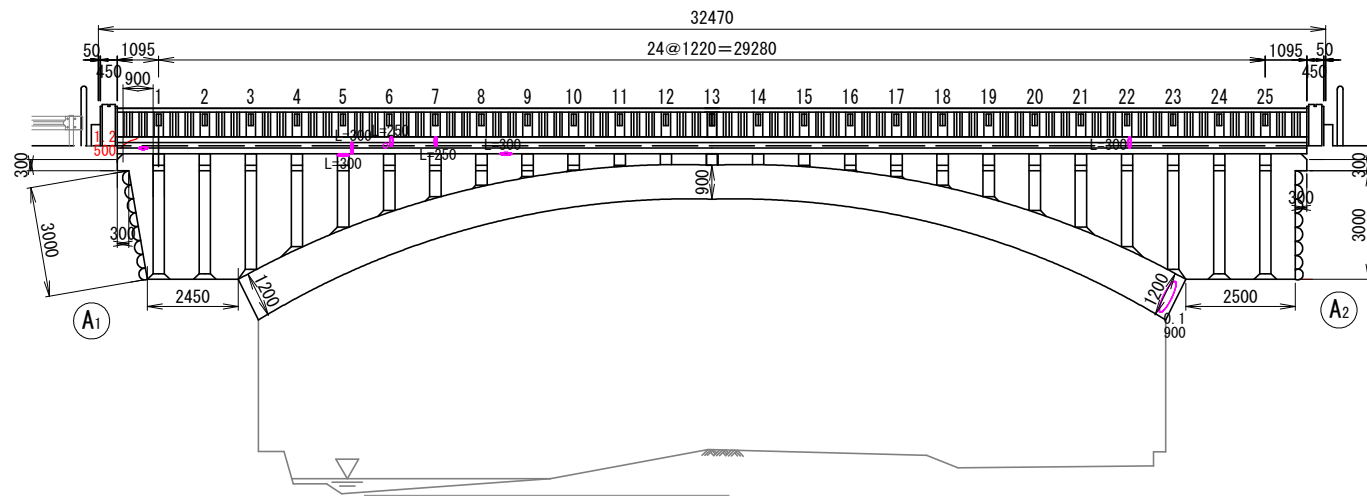
補修一般図 名栗川橋



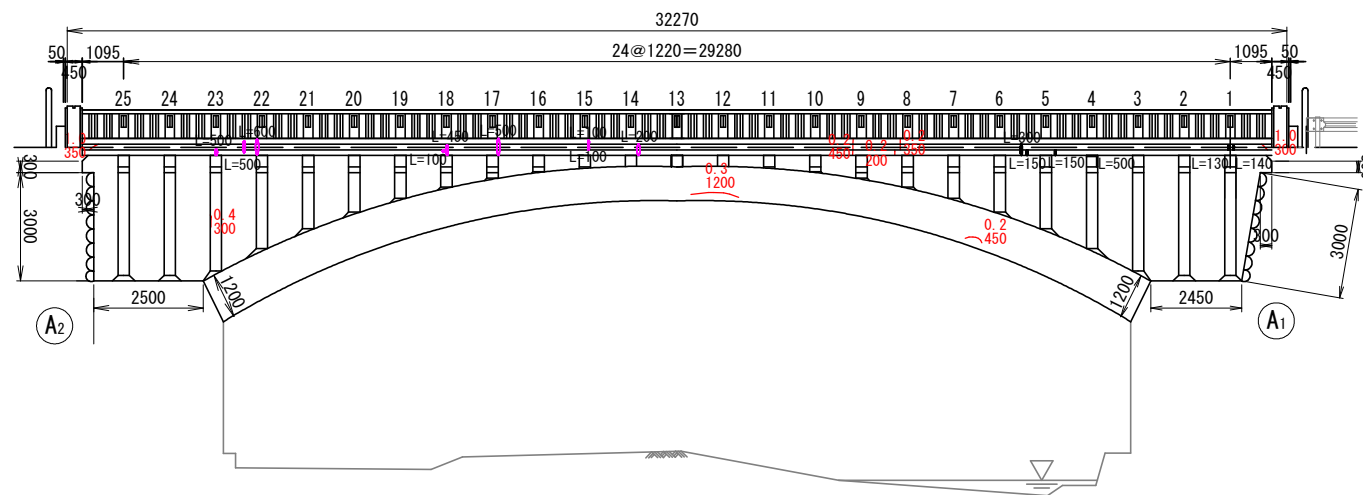
工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	補修一般図		
縮 尺	図示 (A3)	図面番号	1 / 9
飯能市建設部道路建設課			

ひび割れ補修図(1)

側面図 上流側 S=1:200

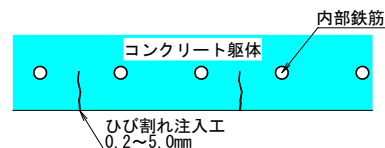


側面図 下流側 S=1:200

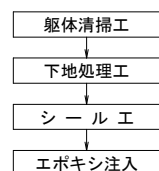


ひび割れ補修工

1. 概略図



2. 施工フロー
ひびわれ注入工
0.2mm<ひび割れ幅≤5.0mm
低圧低速式ひびわれ樹脂注入

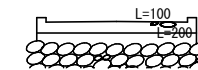


3. 注入工

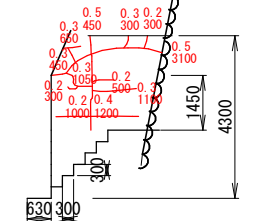
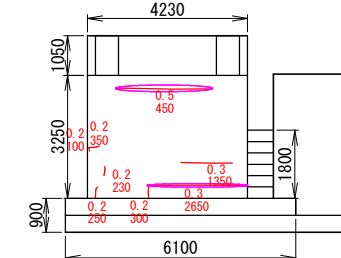
- (1) 注入剤はエポキシ樹脂注入材3種で計上している。
- (2) 注入剤の設計数量は、1,200kg/m³、ロス率を+0.15として計上している。
- (3) 材料費として、シール材を幅50mm、厚1.5mm、1,700kg/m³、ロス率0.37で計上している。
- (4) ひび割れ深さは30mmと仮定する。
- (5) 低圧注入器具は1箇所@250mmとしている。
- (6) 機械経費等は諸経費で計上している。
- (7) 施工前に損傷の発見に努め、事前に暫定施工数量を監督員に提出のこと。

下部工 S=1:200

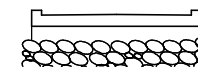
A1橋台



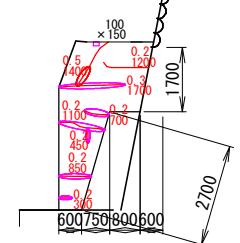
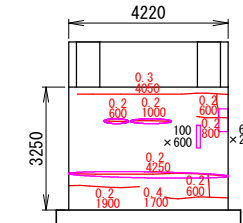
A3橋台



A2橋台



A4橋台



凡 例

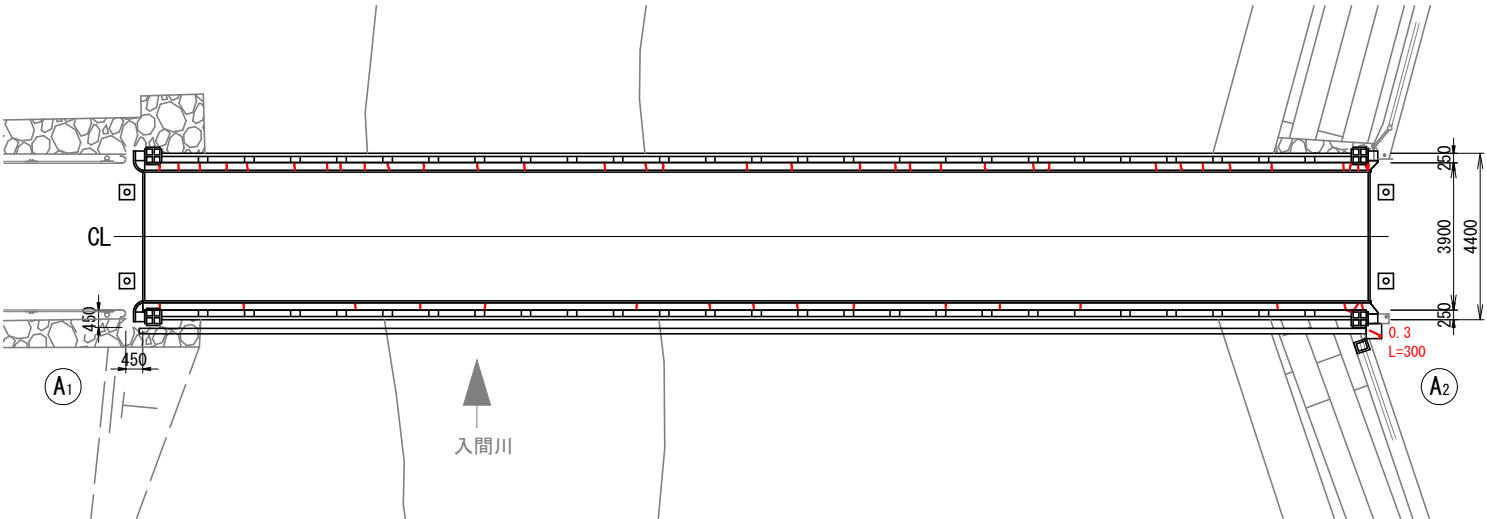
損傷の種類	表 示
ひびわれ	
遊離石灰	

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

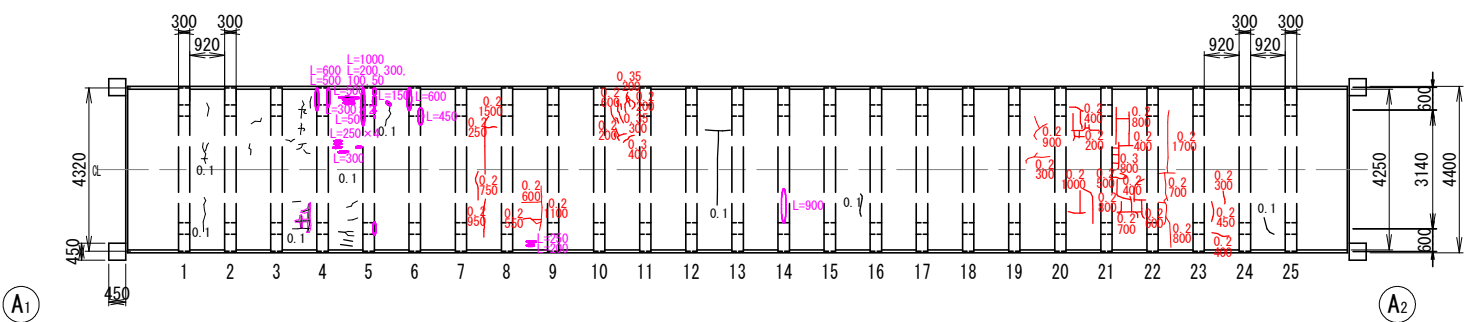
工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	ひび割れ補修図（１）		
縮 尺	図示（A3）	図面番号	2 / 9
飯能市建設部道路建設課			

ひびわれ補修図(2)

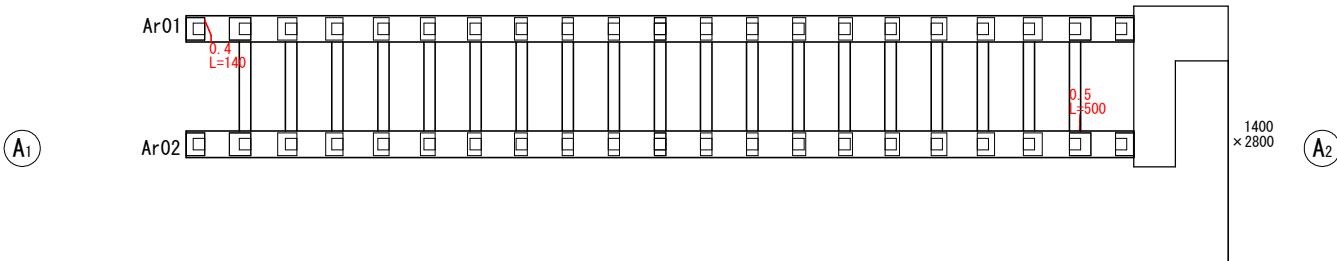
平面図 橋面 S=1:200



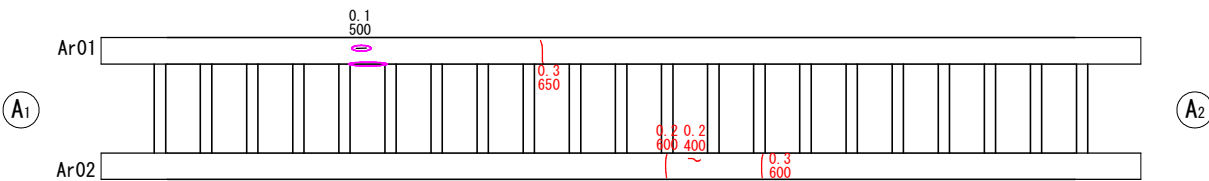
平面図 床版下面 S=1:200



平面図 横桁 S=1:200

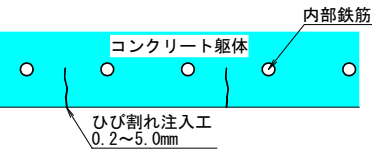


平面図 アーチリブ S=1:200

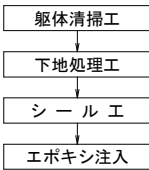


ひび割れ補修工

1. 概略図



2. 施工フロー
ひびわれ注入工
0.2mm<ひび割れ幅≤5.0mm
低圧低速式ひびわれ樹脂注入



3. 注入工

- (1) 注入剤はエポキシ樹脂注入材3種で計上している。
- (2) 注入剤の設計数量は、1,200kg/m³、ロス率を+0.15として計上している。
- (3) 材料費として、シール材を幅50mm、厚1.5mm、1,700kg/m³、ロス率0.37で計上している。
- (4) ひび割れ深さは30mmと仮定する。
- (5) 低圧注入器具は1箇所@250mmとしている。
- (6) 機械経費等は諸雑費で計上している。
- (7) 施工前に損傷の発見に努め、事前に暫定施工数量を監督員に提出のこと。

凡 例

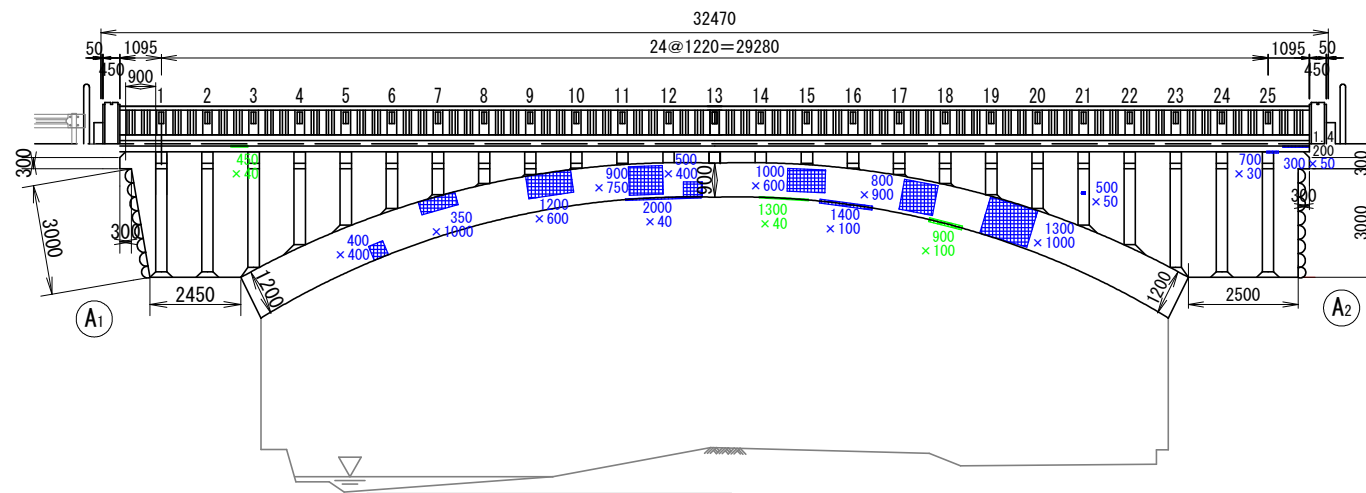
損傷の種類	表 示
ひびわれ	
遊離石灰	

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

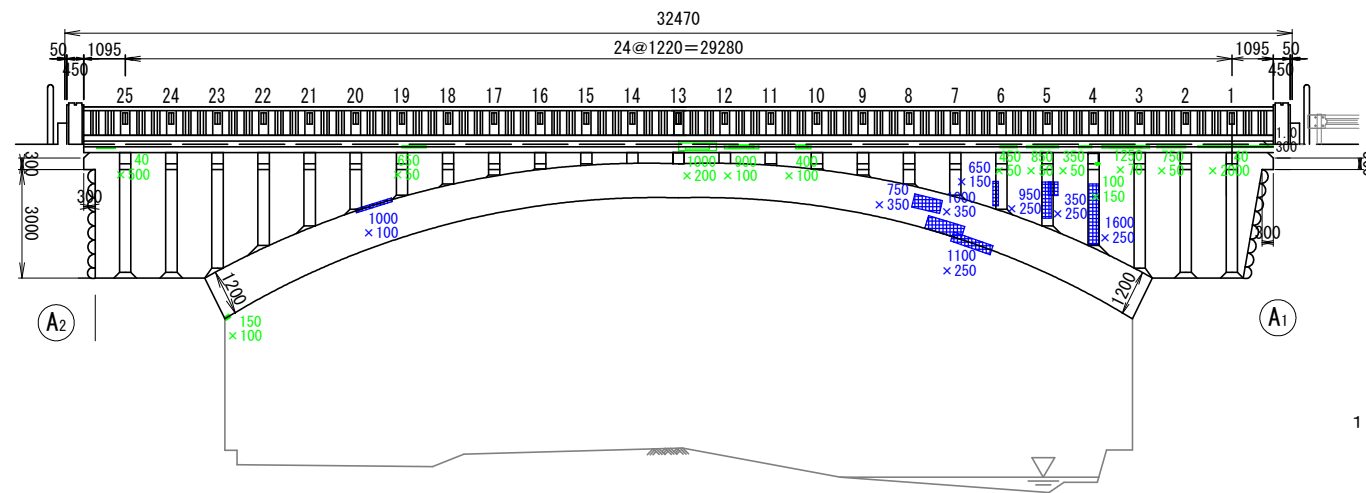
工 事 名	名栗川橋修繕工事			
路 線 名	市道8-10号線			
工事箇所	飯能市大字下名栗地内			
図 面 名	ひび割れ補修図(2)			
縮 尺	図示 (A3)	図面番号	3 / 9	
飯能市建設部道路建設課				

断面修復工図(1)

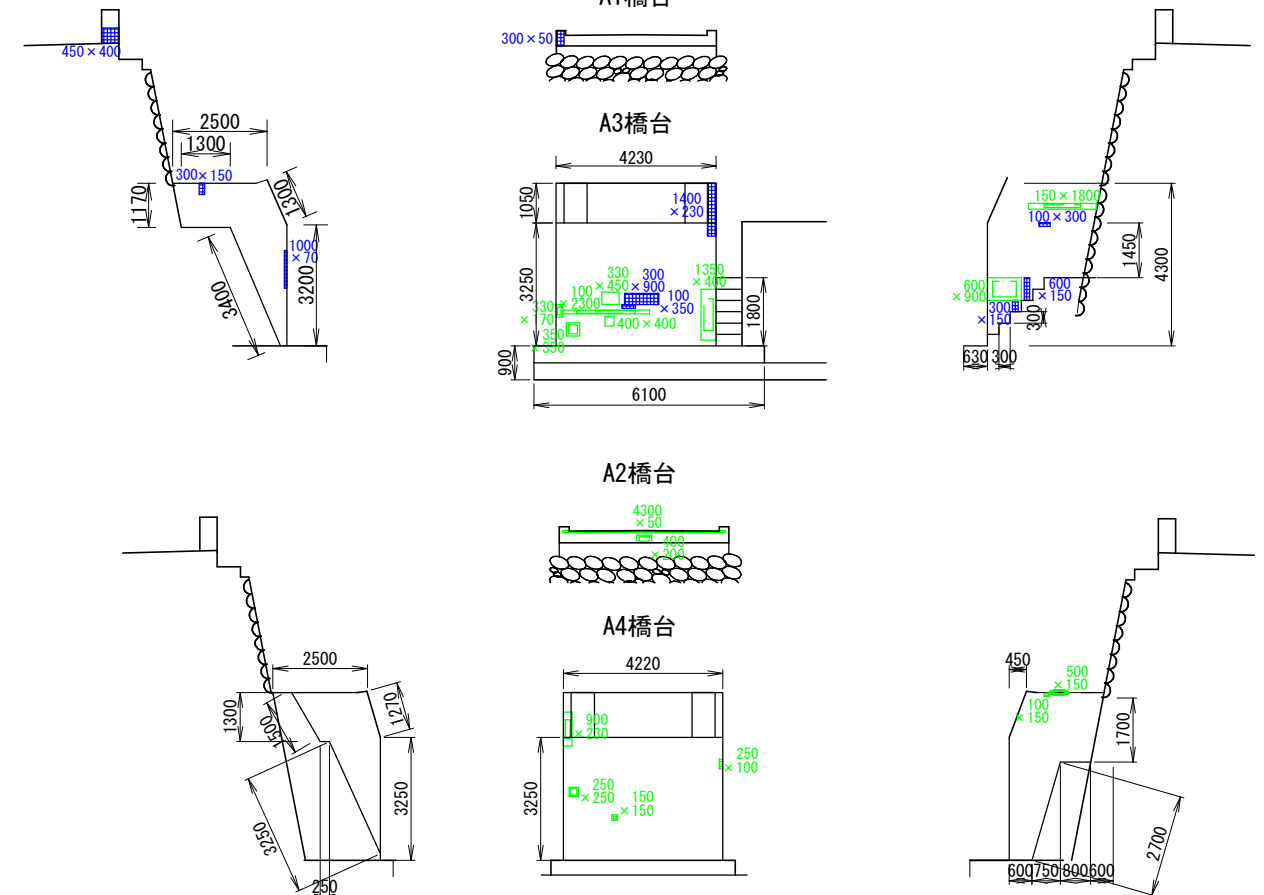
側面図 上流側 S=1:200



側面図 下流側 S=1:200

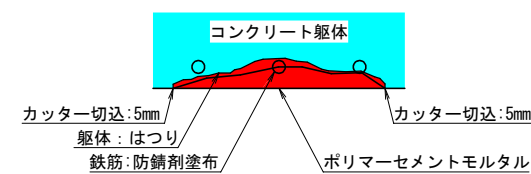


下部工 S=1:200

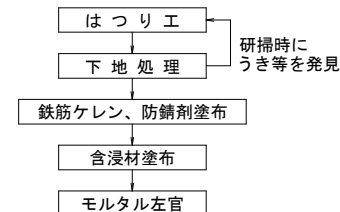


断面修復工

1. 概略図



2. 施工フロー



3. 鉄筋処理

- (1) 鉄筋の腐食が進行している場合は、鉄筋背面まで
はつり、銷落し後防錆剤塗布のこと。
- (2) モルタルは鉄筋背面まで十分に充てんすること。
また、空隙の発生防止に留意のこと。
- (3) 鉄筋の腐食が軽微で背面まで至っていない場合は、
鉄筋背面までにはつらずに施工とする。
4. 浮き及び欠損部ははつり落す。
その際に周辺部はカッターで5mm程度切込むこと。
5. 施工範囲は可能な範囲で、矩形とする。

凡 例

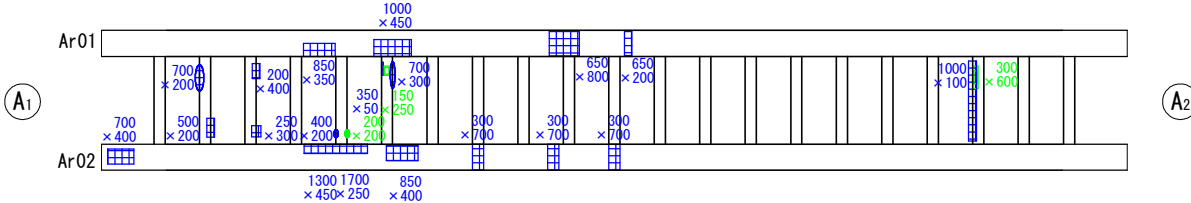
損傷の種類	表 示
う き	
鉄筋露出	
剥 離	

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

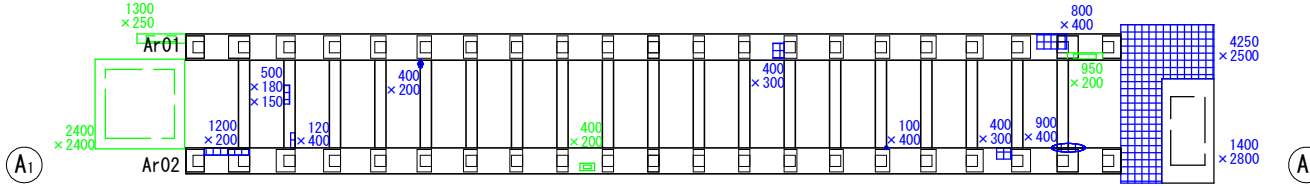
工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	断面修復工図（1）		
縮 尺	図示（A3）	図面番号	4 / 9
飯能市建設部道路建設課			

断面修復工図(2) 名栗川橋

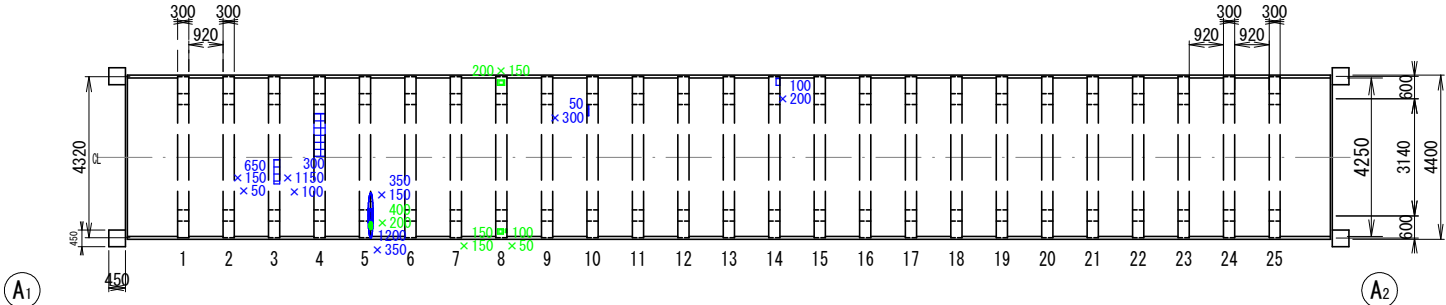
平面図 アーチリブ S=1:100



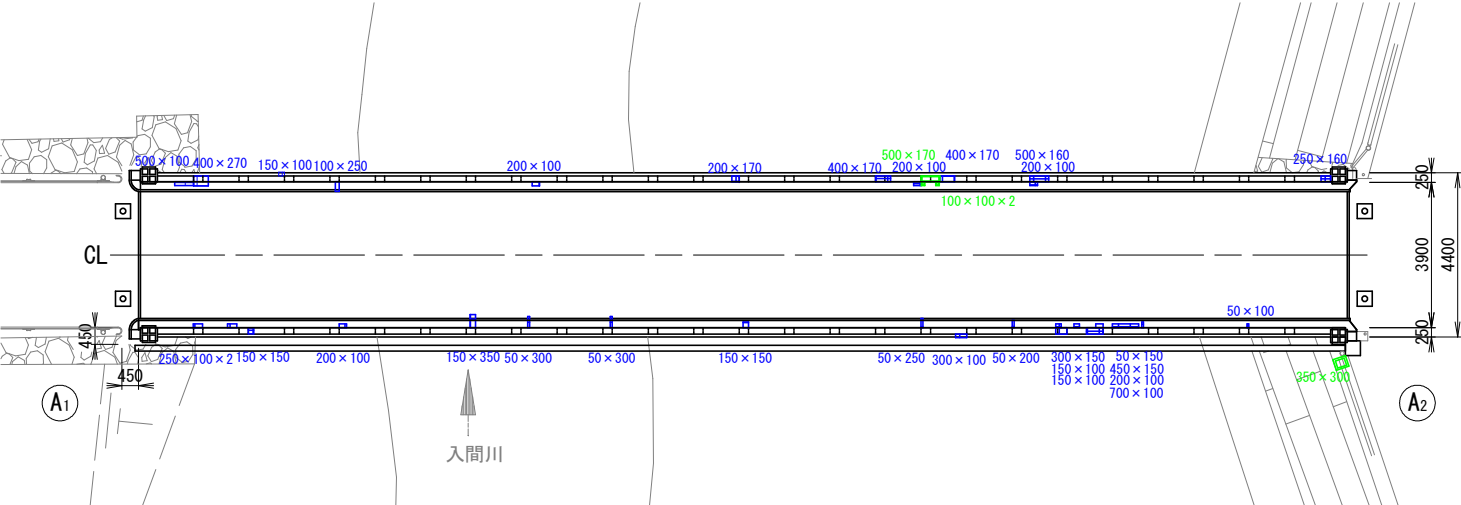
平面图 横桁 S=1:100



平面图 床版下面 S=1:100

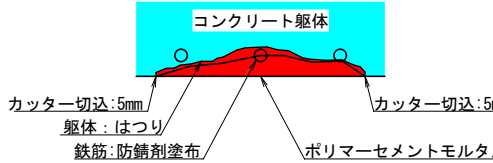


平面图 橋面 S=1:100

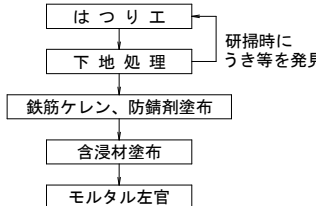


断面修復工

- ## 1. 概略図



- ## 2. 施工フロ-



- ### 3. 鉄筋処理

- (1) 鉄筋の腐食が進行している場合は、鉄筋背面まではつり、錆落とし後防錆剤塗布のこと。
- (2) モルタルは鉄筋背面まで十分に充てんすること。
また、空隙の発生防止に留意のこと。
- (3) 鉄筋の腐食が軽微で背面まで至っていない場合は鉄筋背面まではつらずに施工とする。

4. 浮き及び欠損部ははつり落す。
その際に周辺部はカッターで5mm程度切込むこと。

5. 施工範囲は可能な範囲で、矩形とする。

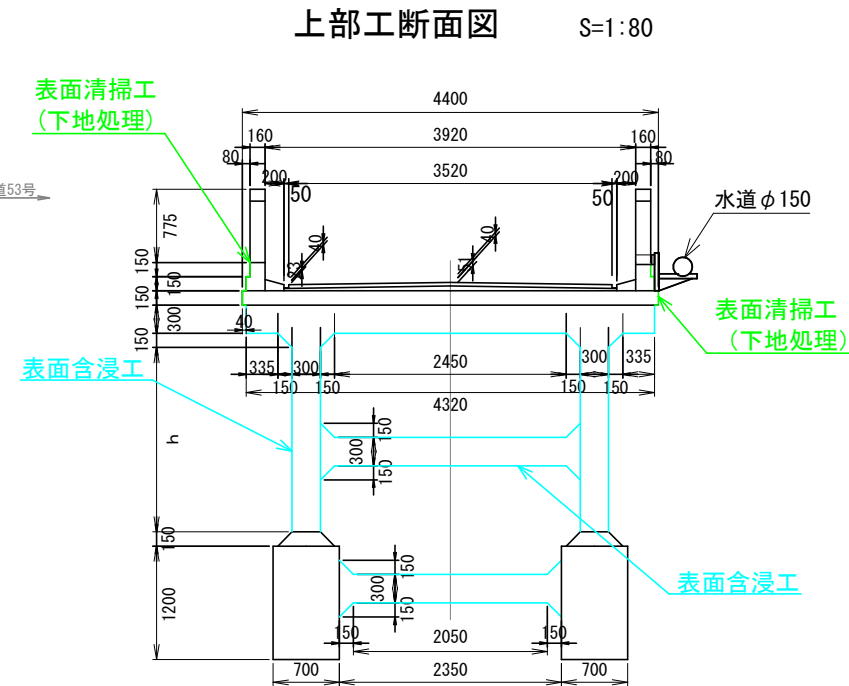
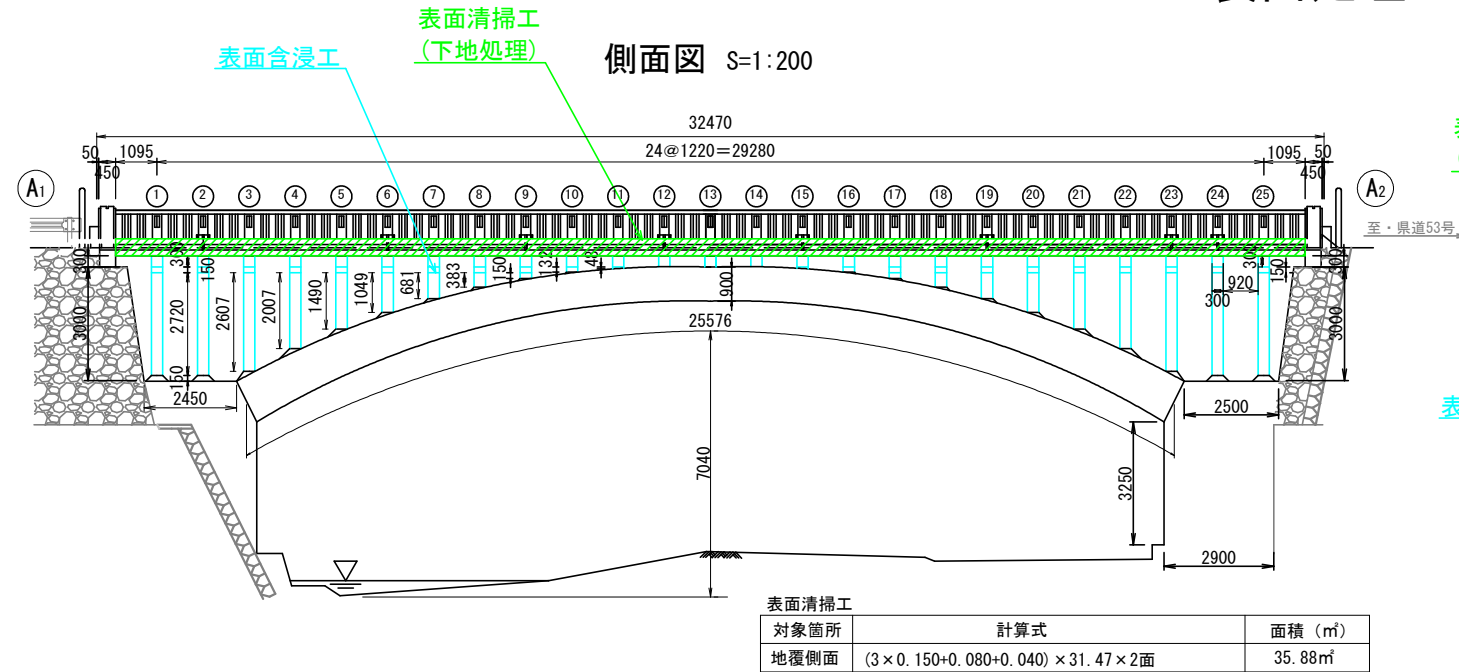
凡 例

損傷の種類	表 示
う き	
鉄筋露出	
剥 離	

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	断面修復工図（2）		
縮 尺	図示（A3）	図面番号	5 / 9
飯能市建設部道路建設課			

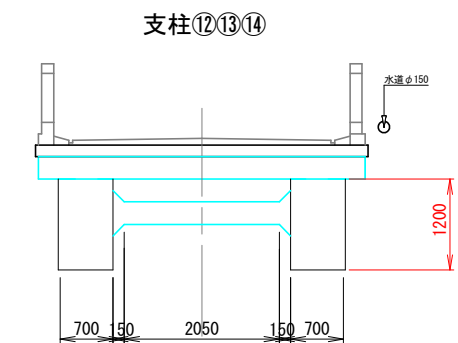
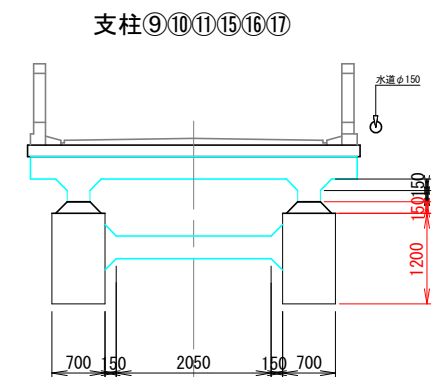
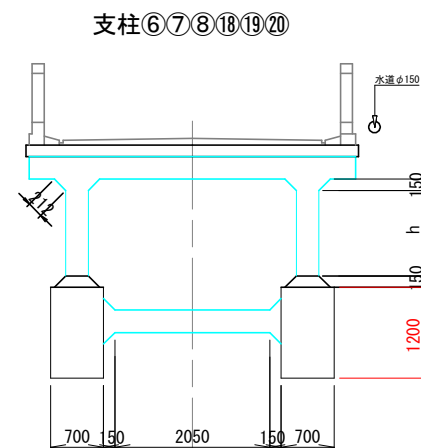
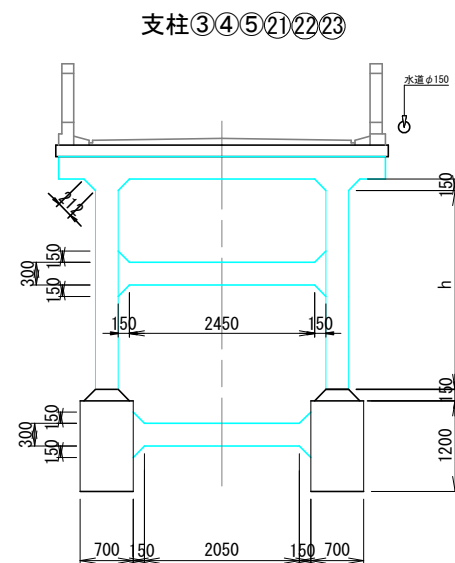
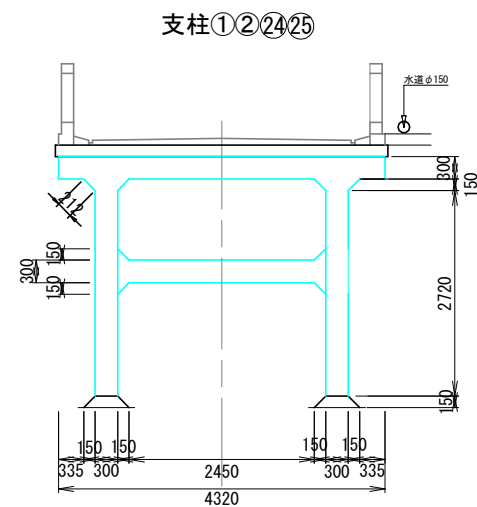
表面処理工図 名栗川橋



表面処理工
亜硝酸リチウム併用型シラン系表面含浸工法

-
1. 施工フロー
- 作業開始
- 下地処理
- 亜硝酸リチウム系
表面含浸材塗布
- シラン・シロキサン系
表面含浸材塗布
- 作業終了
- ①下地処理工 (サンダーケレン)
- ②下地処理工 (高圧水洗浄)
- ③亜硝酸リチウム系表面含浸材
標準塗布量: 0.30kg/m² ※1
- ④シラン・シロキサン系表面含浸材
標準塗布量: 0.18kg/m²
3. 注意事項
- (1) 下地処理はコンクリート面の汚れや、油脂等を除去する。
- (2) 遊離石灰等はディスクサンダーやグラインダー等でケレン・除去する。
- (3) 内部鉄筋の防錆効果目的のため含浸剤は亜硝酸リチウム系のものを使用する。
- (4) 横杭、支柱を対象に実施し、新規損傷へも適宜塗装を行うこと。

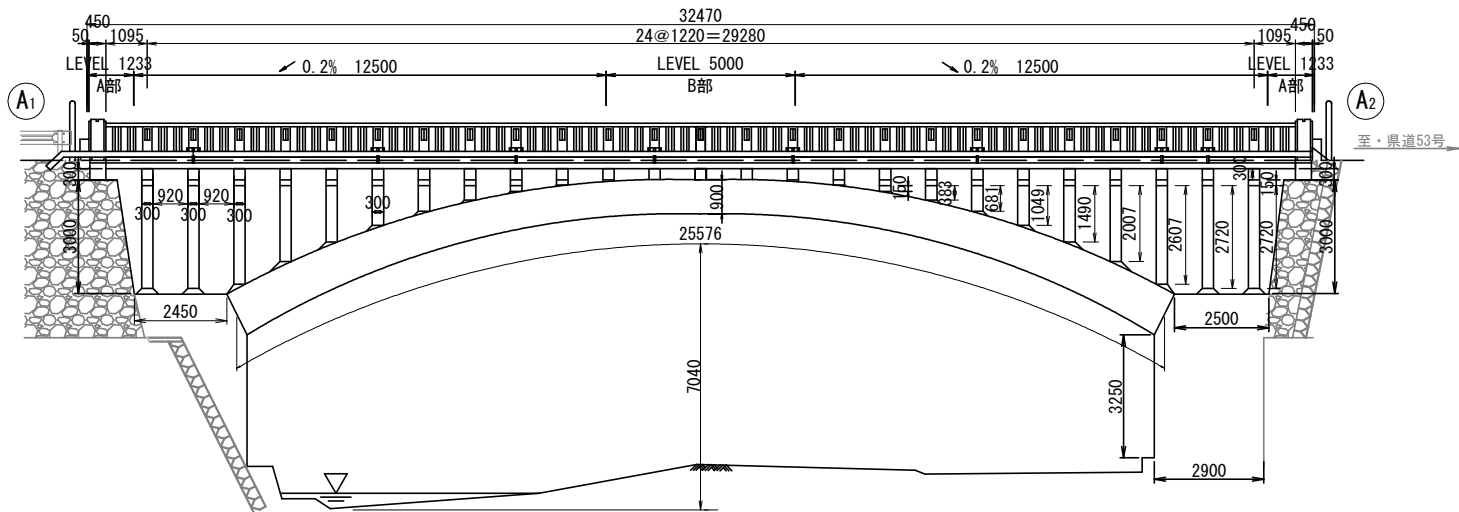
※1. 亜硝酸リチウム系表面含浸材性状	
成分	亜硝酸リチウム水溶液
外観	透明青色
粘度	50mPa・s以下
密度	1.25±0.05g/cm3
pH	9.0±1.0
濃度	40.0±1.0%



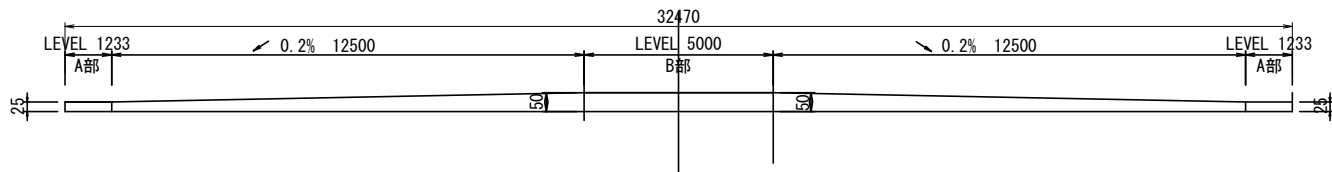
工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	表面処理工図		
縮 尺	図示 (A3)	図面番号	6 / 9
飯能市建設部道路建設課			

舗装補修工図

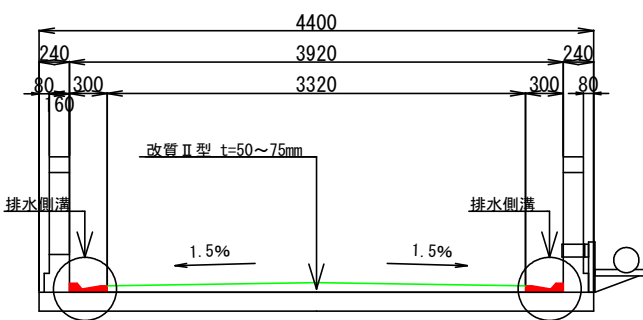
側面図 S=1:200



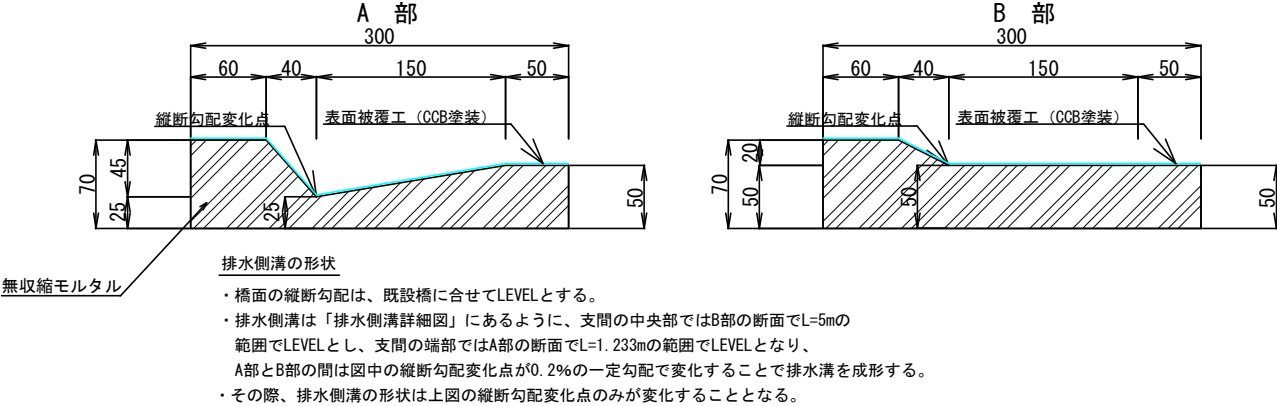
排水側溝 縦断勾配変化点



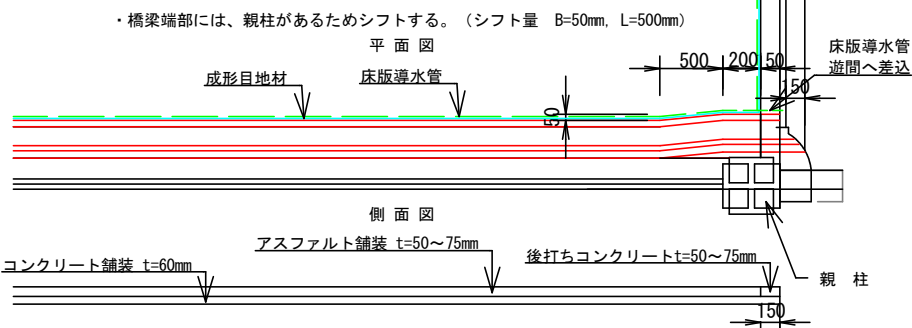
上部工断面図 S=1:100



排水側溝詳細図 S=1:60

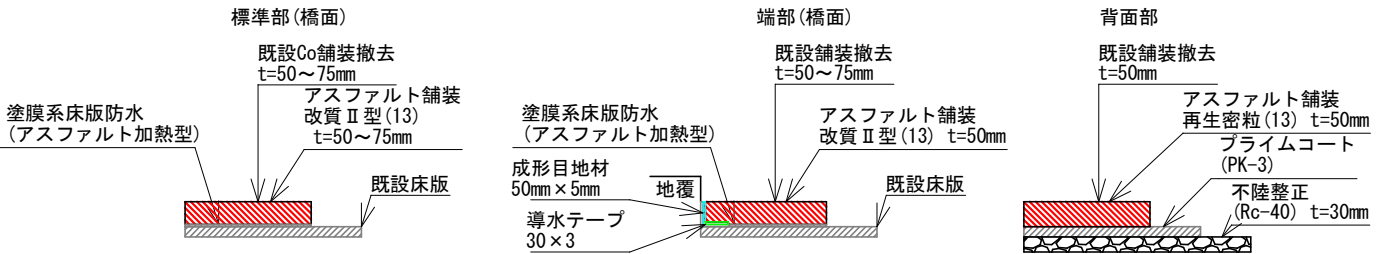


排水側溝端部概要図 S=1:60

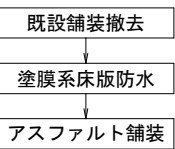


橋面舗装構成図

1. 概略図



2. 施工フロー(橋面)



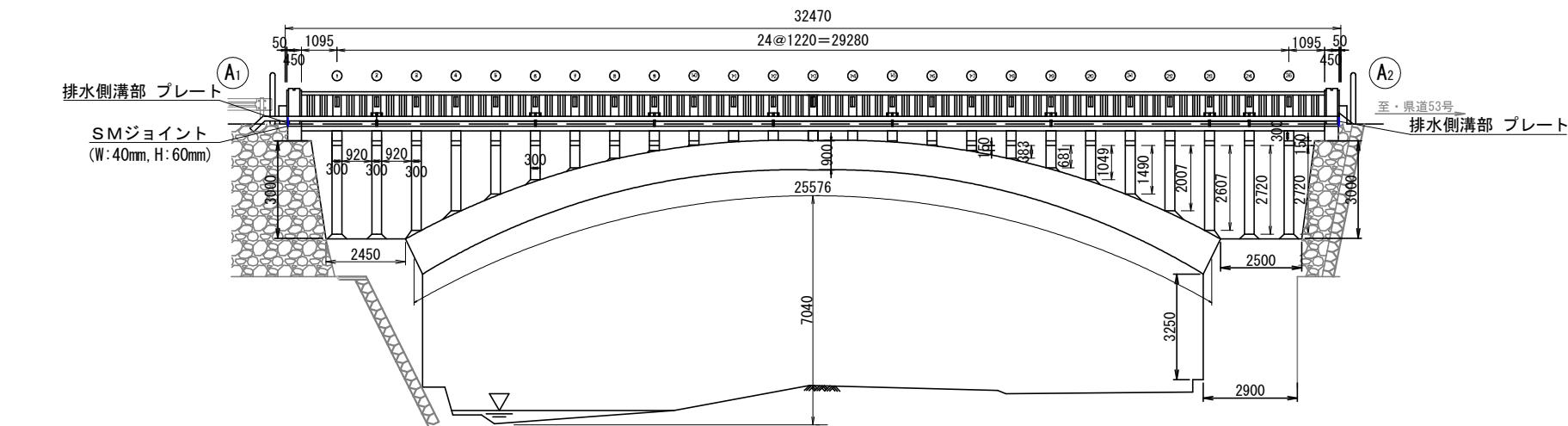
3. 注意事項

- (1) 橋面上既設舗装の撤去は、t=50mmを目安に行うこと。ただし、橋面・背面の舗装端部(150mm)は、伸縮装置の定着部となり、無収縮モルタルが既設床版と一体化するため、この部分の舗装を撤去し床版コンクリートをチップングすること。
- (2) 床版防水は、立ち上げ部まで塗布を行うこと。
- (3) 成型目地材は、As舗装-モルタル際に設置すること。
- (4) 導水テープは伸縮部のモルタルより先に設置し、遊間の隙間に垂らす。(上にモルタルを打設する)
- (5) 背面舗装の構成は図の通り想定しているが、現地の状況に合わせて変更すること。

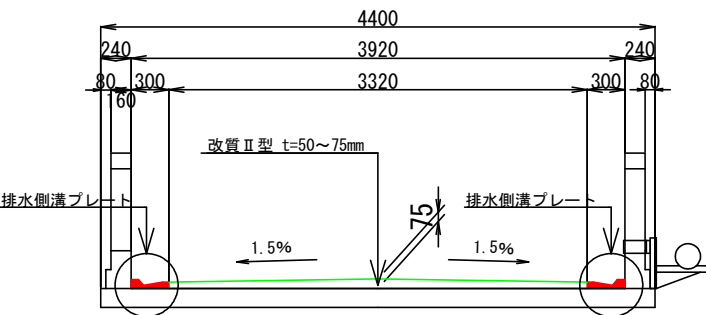
工事名	名栗川橋修繕工事			
路線名	市道8-10号線			
工事箇所	飯能市大字下名栗地内			
図面名	舗装補修工図			
縮尺	図示(A3)	図面番号	7	9
飯能市建設部道路建設課				

目地補修工

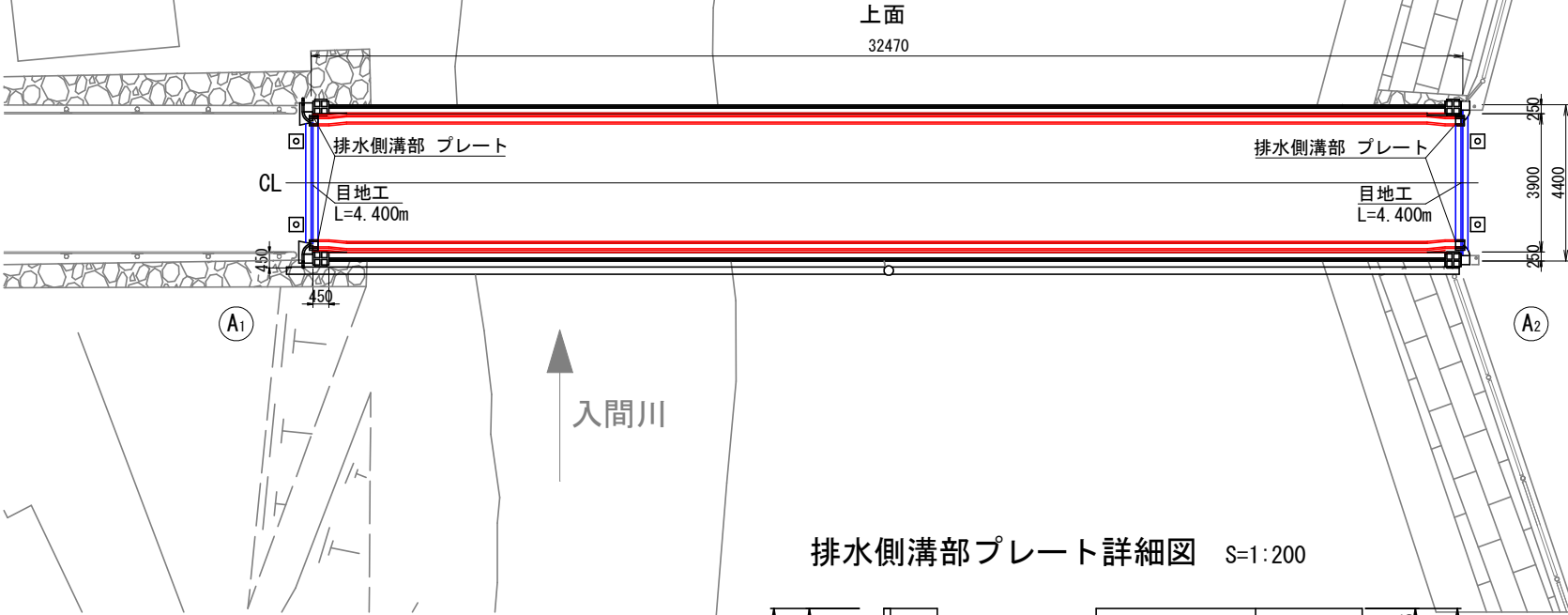
側面図 S=1:200



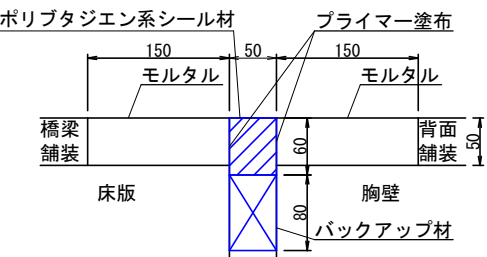
上部工断面図 S=1:100



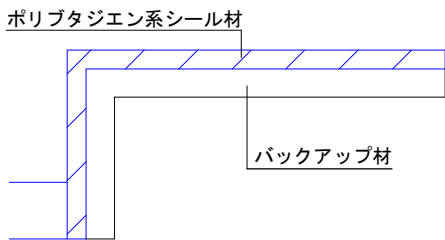
平面図 S=1:200



車道部分 S=1:8

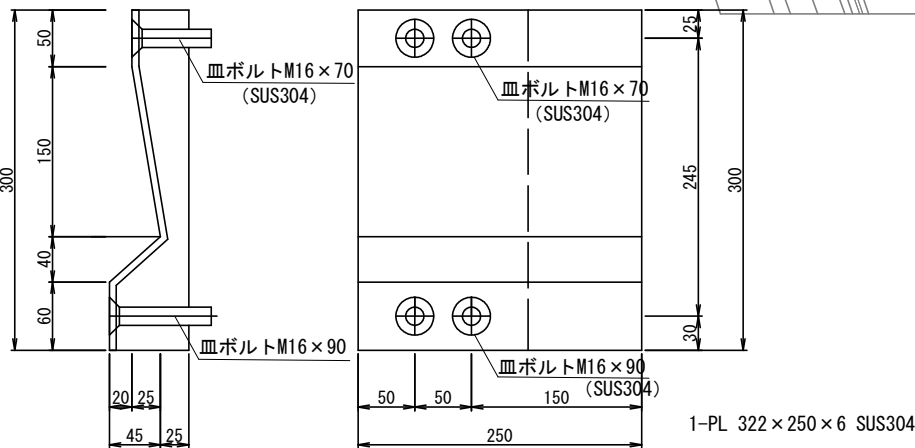


地覆部分 S=1:8

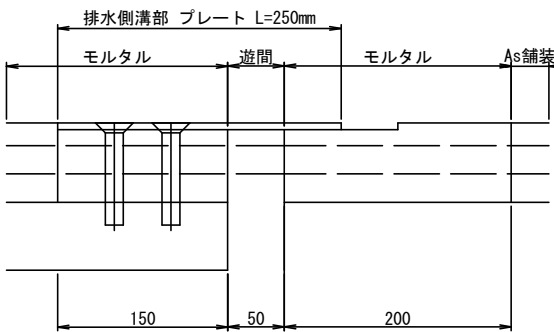


※1. 背面側は橋台構造が不明確なため
舗装撤去後に適宜寸法を調整すること。

排水側溝部プレート詳細図 S=1:200



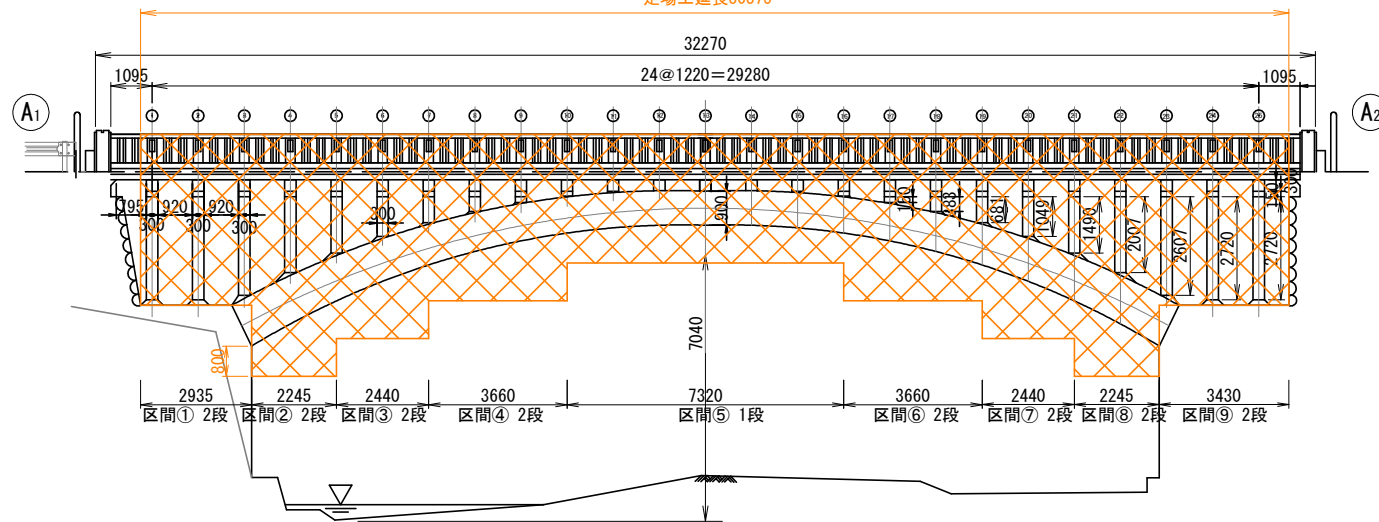
排水側溝部 桁端部縦断概要図



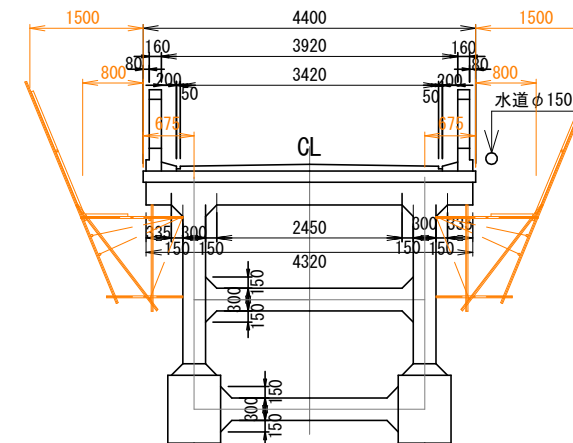
施工計画図

側面図 S=1:200

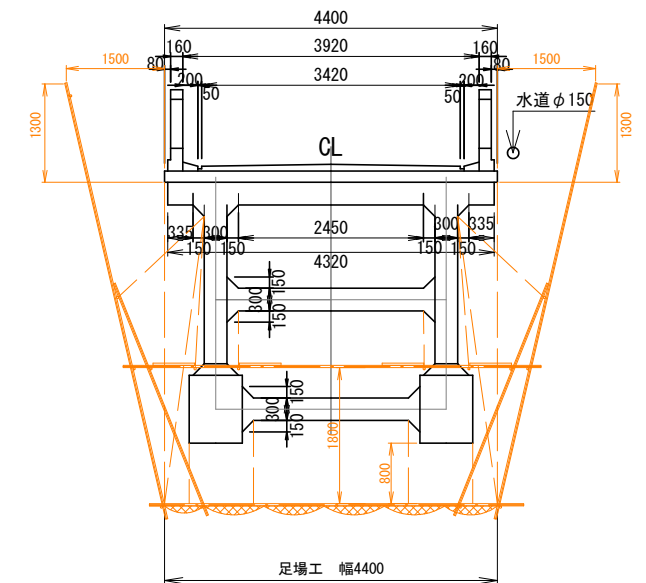
足場工延長30375



地覆補修等足場断面図 S=1:100



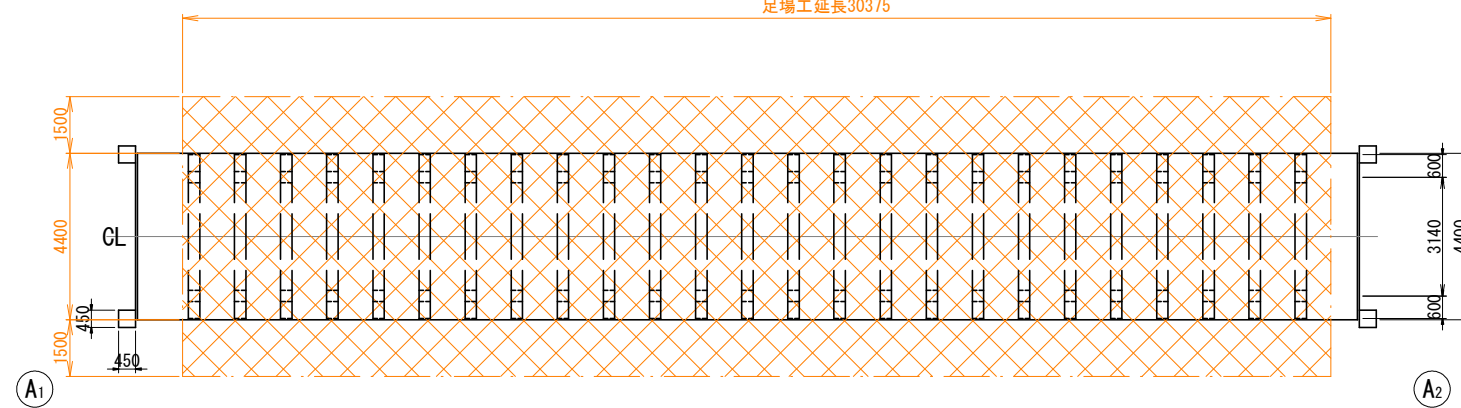
吊足場断面図 S=1:100



平面图 S=1:200

下面

足場工延長30375



工 事 名	名栗川橋修繕工事		
路 線 名	市道8-10号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図 面 名	施工計画図		
縮 尺	図示 (A3)	図面番号	9 / 9
飯能市建設部道路建設課			